

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

(以下「ディズニー」という)

第二十二回ディズニー・チャンネル/ディズニーXD放送番組審議会  
議事録

- 開催日時 : 2014年04月24日(木) 17:30~18:30  
開催場所 : 東京都港区麻布台2-4-5  
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社  
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナショナル ジャパン  
スタジオ・ディズニー会議室
- 在任審議委員数 : 7  
出席審議委員数 : 6  
出席審議委員氏名 : 阿部 京子  
木下 美子  
戸田 奈津子  
中川 真弥  
前田 耕作  
山田 顕喜
- その他、ディズニ : 編成部門担当者5名  
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
  - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について  
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
    - ・「なんだかんだワンダー」
    - ・「うわさのツインズ リブとマディ」
    - ・「絶叫キャンプ レイクボトム」

**審議の概要**

- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について  
ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。  
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- ディズニー・チャンネルでは、今回お見せした「なんだかんだワンダー」

と「うわさのツインズ リブとマディ」が3月から放送開始となり、「シェキラ！」がいよいよフィナーレを迎える。

- 「怪奇ゾーン グラビティフォールズ」については、ディズニーXDに移されることとなった。
- ディズニーXDについては、MARVELの映画の公開に合わせて、特に5月は強化月間として、マーベル関連の作品を次々と打ち出し、プレゼント企画もやる予定。
- また4月からは、オリジナル番組として「ディスクウォーズ アベンジャーズ」がテレビ東京で毎週水曜18:30に放送され、5月からはディズニーXDでも放送される。
- スパイダーマンも登場するようだが。
- マーベルのキャラクターは大人には広く認知されているが、6歳男児の認知度も最大化していくために、まずテレビ東京で先に放送し、XDで放送することになった。
- 商品もすでに幾つか出ており順調。コロコロコミックなどでも掲載されている。ゴールデンウィークには、池袋のサンシャインシティでイベントを開催して盛り上げる予定。

## 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

### 『なんだかんだワンダー』について：

- 陽気な主人公ワンダーと相棒の馬のシルヴィアが、宿敵であるヘイター率いる邪悪な軍の支配から、宇宙の平和と自由を守るという内容。
- これが第1話目なのか？シリーズの途中かと思った。展開の速さに子供たちはついていけるのだろうか？
- 楽しかった。
- 全体的にペースが速い。伸び縮みや、崖のところでの動きが面白かった。セリフが少なくても動きで魅せられる。
- 好き嫌いが出るかもしれない。
- 「フィニアスとファーブ」では決まったパターンがあって、ファンがついてくるが、本作の場合、ワンダーは宇宙の旅人として色々な惑星へ移動す

るのでシチュエーションが変わる。日本でも、キモカワ系が好きな人にはまるのではないかと思う。

- 背景に一部、日本語を入れているようだが、日本語のタイトルを決めたりするのも大変だったのでは？
- かなり議論した。もともと、原語の主題歌も「wander over yonder…」と繰り返すばかりなので、これをどう伝えるか正直迷ったが、最終的にはタイトルも「なんだかんだワンダー」とすることにした。
- 小学生にも見せたら受けたが、どちらかという中高生に好評だった。
- 画が面白いので、内容がわかればもっと続きを見たいと思う。

#### 『うわさのツインズ リブとマディ』について：

- バスケが好きなごく普通の女の子であるマディのもとに、4年間ハリウッドで芸能活動をしていた双子の姉のリブが家に戻ってきた。外見は同じながらも中身は全く正反対な二人が同じ環境で暮らすことになって色々なハプニングが起きる…という内容。
- 主演のダヴ・キャメロンは歌も上手く、今後もディズニー・チャンネルでの番組出演を期待できる存在。
- 一人二役だが、ときどき正面にカメラが入るストーリー構成が上手く、面白い。
- 自分にも娘が二人いるので、自分に置き換えて家族というものを考えられる内容。
- 両親がもうちょっとしっかりしてくれるといいのに、と思う。途中でモノログが入る部分は、少々回数が多く、煩わしく感じることもある。
- 双子という設定は、ストーリーに広がりを与える。
- 家庭のことを楽しく描くのはよい。
- ディズニーは双子という設定が結構好きで、双子が登場するドラマが数多く制作されている。
- アメリカでは、双子は仲良しというイメージだろうか？
- おそらく双子に対する憧れのようなものもあるのだと思う。
- 双子の姉妹がケンカして仲直りする、というのも良い。今後も展開に期待できる。

#### 『絶叫キャンプ レイクボトム』について：

- 主人公のマギー(「McGee」という男の子)は、夏休みを過ごすために本来行くはずだったサマーキャンプとは全く別のキャンプ・レイクボトムに送られてしまう。そこはゾンビやモンスターたちがいるところなので怖ろし

くなって一度は脱出を試みるが、ゾンビのソーヤーや雪男のアーモンド達が意外といい奴らであることがわかると、またそのキャンプに戻って楽しい夏休みを過ごす…、という内容。

- サニースマイルズのキャンパーたちのほうが、ゾンビたちよりも「怖い」というのが面白かった。人間たちのほうが結構ひどいことをする。
- 英語が多すぎる。「サマーキャンプ」とは何かが子供たちがわからないかもしれない。この二つのキャンプの名前にしても、対極に位置する二つを差別化するための意味が含まれているのに、ただのカタカナの羅列になってしまい、面白さが伝わらなくなるのが残念。だが、音楽が上手く入っていて素晴らしい。歌をデュエットしていた部分がとてもよかった。
- ラップも良かった。
- キャラクターの動きも上手い。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので18：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。